

# 菊名地区

## 地域福祉保健計画

(計画期間：平成 18 年度～22 年度)

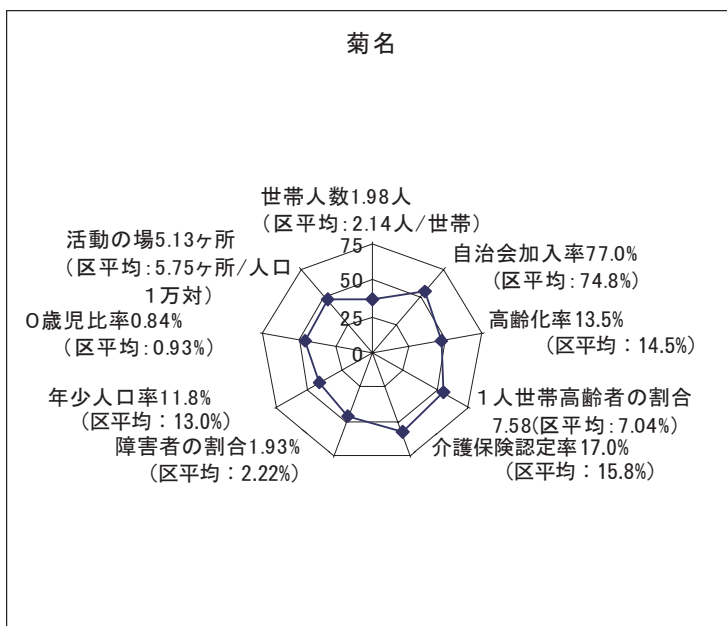
# I 菊名地区の現状と課題

## 1 菊名地区の特徴

菊名地区は、菊名3丁目の一部（菊名北町町内会）、菊名4～7丁目、錦が丘、篠原北1～2丁目、大豆戸町、新横浜1～3丁目、富士塚2丁目の一部（ふじ町内会）、篠原町の一部（表谷町内会）をその範囲としています。

総人口は33,146人、老年人口が年少人口よりやや多くなっています。菊名地区には10の自治会町内会があります。

菊名地区には菊名駅、新横浜駅があり交通の利便性が比較的良好、医療機関や商業施設も多くあります。区内でも早くから開発された地域で高齢化が進んでいる一方で、新築マンションが建ち、転入者の多い地域もあります。



## 2 菊名地区の課題

### ① 交流

- 大豆戸町のように、転入者が多く子育て中の親どうしの交流が深まりにくい地域があります。育児に困っている親も多くいます。交流をいかに進めるか、特に子育てサロンなどに出てこない家にこもりがちな親の参加をいかに進めていくかが課題です。
- 乳幼児の子育てグループや青少年のグループをはじめ、いろいろなグループ・団体が地域の中で活動を展開しています。今後は、こうした取り組みの相互交流をいかに図っていくかが重要となります。
- 高齢者どうしの交流が活発に行われてはならず、行事にもなかなか参加してもらえない実情があります。仲間づくり、誘い合わせが大切です。特に、まだまだ元気な世代である60代の市民や男性の地域活動への参加をいかに進めるかが、これからの大きな課題です。
- 同世代や世代間の交流と同様、障がい児・者と障がいをもたない市民とのふれあいが求められます。バザー等の行事を継続していく他、日常的なふれあいの機会や場づくりが求められています。また、地域で引きこもりがちな障がい者にどう接し、サポートしていくかも課題になっています。

### ② 情報・相談

- 転入してきた市民については、地域での交流がむずかしく情報も入りにくいという課題があります。いろいろな情報を一括して得ることができる場、相談の場が期待されています。

### ③ 場・拠点

- 地区センターやコミュニティセンターはありますが、地域の中で気軽に立ち寄れる場が十分にあるわけではありません。丘陵地帯で外出しにくいと感じている高齢者などもいて、行きやすい商店街の中にそうした交流の場を設けていくことが望まれています。商店街の空き店舗の活用を含め、有効な方策を考える必要があります。また、青少年（二十歳くら

いまで) がボール遊びができる場所や音を出せる音楽活動ができる場所が必要です。

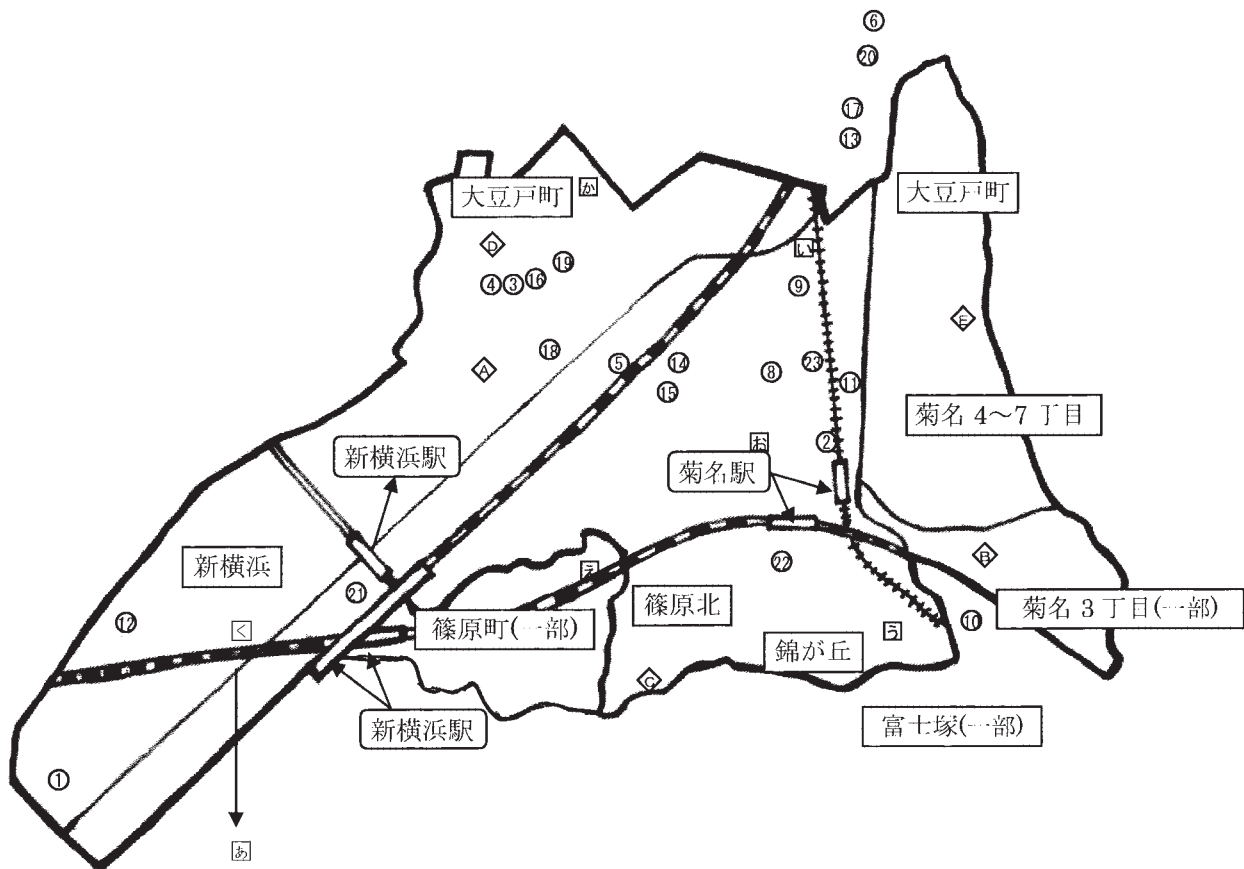
#### ④ ボランティア・担い手

○地域での支えあい・助けあいのうえで、ボランティア活動は大きな位置を占めています。しかし、担い手の高齢化・固定化という課題があり、せっかく講座を受講しても実際の行動に関わる人は決して多くはありません。ちょっと何かやってみたいという市民の思いが活動に結びつくよう、きっかけづくりが求められています。また、ボランティア活動を活発にしていくための知識・技術、運営のサポートも期待されています。

#### ⑤ 安心・安全

○高齢者・障がい者・育児世代など誰もが移動の自由を保障できる手だて（コミュニティバスや高齢者移送サービス等）を講じて行く必要があります。

### 3 地域の拠点や福祉保健の取り組み状況



#### < 保育園・小中学校 >

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
◇	ペガサス新横浜保育園 ペガサス夜間保育園	・ 地域支援室を一般開放（予約制） 毎水曜10:00~12:00
◇	菊名愛児園	
◇	平和台幼児園	

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
◇	市立大豆戸小学校	・学校開放 ・障がい者の会の活動拠点【いずみ会】
◇	市立菊名小学校	・学校開放

### <自治会館・町内会館・集会所など>

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
㊦	新横浜自治会館	・新横浜赤ちゃん会を月1回開催【区主催】
㊧	菊名北町町内会館	
㊨	錦が丘町内会館	
㊩	表谷町内会館	
㊪	大豆戸町内会館	
㊫	大倉山ハイム集会室	
㊬	自治会館	
㊭	新横浜町内会館	

### <福祉施設・公共施設・ボランティアグループなどの活動場所>

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
①	特別養護老人ホーム 新横浜パークサイドホーム	・介護が必要な高齢者の日常生活のお世話、機能訓練、健康管理などの世話を行う介護老人福祉施設
②	障害者グループホーム さくらロード菊名	・身体・知的障がいのある人がグループ生活をしています
③	特別養護老人ホーム 新横浜さわやか苑	・①と同じ
④	特別養護老人ホーム ワゲン新横浜	・①と同じ
⑤	障害者グループホーム ハーモニー	・②と同じ
⑥	小規模通所授産施設 オーガニックスペースかれん	・障がいのある人が自然食品の販売活動をしています
⑧	障害者地域作業所いろえんぴつ(分室えんや)	・障がいのある人がコロッケの販売などを行っています
⑨	障害者地域作業所ハウス陽だまり	・心の病のある人が弁当づくりや販売などを行っています
⑩	菊名コミュニティハウス	・市民利用施設
⑪	菊名地区センター	・男の料理教室【地区センター主催】 ・おはなし会を月1回開催【プレイルーム港北】 ・老人クラブの研修会、健康教育 ・絵本の読みきかせを月1回開催【おはなしなーに】 ・子育て支援者の相談週1回(火曜日)【区主催】 ・菊名文化祭年1回10月頃【地区センター主催】
⑫	オルタナティブ生活館	・保育室すくすく
⑬	港北福祉保健センター	・ふたごの赤ちゃん会を月1回実施 ・4ヶ月児、1歳6ヶ月児、3歳児健診、基本健診 ・予防接種(ポリオ、ツベルクリン・BCG)・健康相談(上記以外にも各種事業を実施)
⑭	国際交流ラウンジ	・外国人ママの会を月1回開催

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
⑮	大豆戸地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>大豆戸赤ちゃん会を月1回開催【区主催】</li> <li>子育てサロン（まめのきひろば月1回、大豆戸1・2・3歳児の会月1回）</li> <li>パパの育児教室【区・地域ケアプラザ共催】</li> <li>ボランティア交流会【ふたばの会】</li> <li>障害者のはあとサロン【白梅会】</li> <li>チャレンジ教室（リハビリ教室）【区主催】</li> <li>介護者の会【地域ケアプラザ主催】</li> <li>転倒骨折予防教室【地域ケアプラザ主催】</li> <li>転倒骨折予防教室OB会（木曜会）【地域ケアプラザ主催】</li> <li>菊名地区地域支えあい連絡会</li> </ul>
⑯	障害者地域活動ホーム しんよこはま地域活動ホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい児者のデイサービス・一時ケア・ショートステイ・おもちゃ文庫・相談支援事業をしています</li> <li>障害児の会(リトルビッツ)を週1回</li> <li>子育て支援者の相談（毎水曜日）【区主催】</li> </ul>
⑰	港北区社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアセンター</li> <li>送迎サービス</li> <li>子育てサポートシステム</li> <li>福祉保健活動拠点 他</li> </ul>
⑱	交通局港北営業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジ教室（リハビリ教室）【区主催】</li> </ul>
⑲	港北スポーツセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種教室開催（健康づくり教室、骨そしょう症予防教室、糖尿病予防教室等）【区主催】</li> <li>チャレンジ教室（リハビリ教室）【区主催】</li> </ul>
⑳	小規模通所授産施設 モアかれん	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある人が喫茶店で働いています</li> </ul>
㉑	新横浜駅行政サービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸籍謄本・抄本、市民税・県民税（非）課税証明書、市税の納税証明書、印鑑登録証明書、外国人登録原票記載事項証明書の交付</li> </ul>
㉒	おやこの広場 びーのびーの	<ul style="list-style-type: none"> <li>親と子のつどいの広場、小学生向け地域の子ども教室【NPO法人びーのびーの】</li> </ul>
㉓	いちょう広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>きくなびょんぴょん月1回開催</li> </ul>

その他の活動等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「出会いの広場」を通じ、世代間交流が行われています</li> <li>毎年10月下旬の日曜日に、菊名地区センターの主催する菊名文化祭と連携し、菊名地区センター・図書館前広場で「らくらく市」が開催されています。1986年（昭和61年）頭初は、障がい者関係団体で始めた「らくらく市」ですが、まちの中で、障がいの有無を超えた人々の出会い・つながりが大切だという考え方で、子育て、子ども・青少年の問題、高齢者福祉、地域の環境などさまざまなテーマで地域で活動している団体（25団体程度）が参加しています【らくらく市実行委員会】</li> <li>高齢者や障がい者の外出支援と交通不便地域の住民の「生活の足」を確保するため、人と環境にやさしいコミュニティバスを街に走らせる運動をしています【NPO法人よこはま環境フォーラム】</li> </ul>	

## Ⅱ 菊名地区の行動計画

### 1 菊名地区のスローガン

- (ア) みんながお互いを理解しあうまち 菊名
- (イ) 思いやりとふれあいのまち 菊名
- (ウ) あいさつと思いやりのまち 菊名
- (エ) みんなが気軽にでかけ、ふれあいの持てるまちをつくっていこう
- (オ) みんなの交流を大事にしながら、一人ひとりの個性がいきるまちにしよう

### 2 行動計画（具体的な取り組み）

#### (1) 一人ひとりの市民自らの取り組み

- いろいろな情報を自分から積極的に得るように努めます。
- 地域の人や地域の動向に関心を持ちます。
- 子育て中の親が孤立しないよう、地域での交流活動に参加していない人に対して積極的に働きかけます。
- 地域での交流と子どもたちの安全のため、朝夕の通学時の声かけや見守りを行います。
- おとなは常に子どもたちを、温かさや厳しさをもったまなざしで見つめます。
- 高齢者どうしの交流を深めるため、老人クラブ未加入の人には加入を働きかけます。
- あまり構えずに、できることからちょっとしたボランティアに取り組んでみます。

### 菊名地区地域懇談会の様子



#### 菊名地区地域懇談会

第1回 平成17年8月6日(土)

第2回 平成17年9月3日(土)

時間 午後1時30分～3時30分

場所 菊名小学校 体育館

(2) 地域での取り組みとそれを支える取り組み

① 交流

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22	
世代間交流を進めるために	<地域・みんなの取り組み>						
	○盆踊りなど地域のイベントを通じて中高生を含めた地域の交流を図っていきます。		●			→	
	○中学生・高校生も含めた交流の場をつくりま		●			→	
障がい児・者への理解と交流を進めるために	<地域・みんなの取り組み>						
	○障がい児・者の当事者がバザー等に参加するようにします。		●			→	
	○商店街の空き店舗を活用した、地域の拠点づくりを検討します（日常的な場の確保とともに、商店街の活性化にもつなげます。）。		●				→
	○地域にある知的障害者作業所と精神障害者作業所とが、相互交流を行います。	●					→
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>						
	○地域にある障がい者施設からも、自治会町内会と障害者施設との交流ができるように働きかけをします（防災訓練への参加・作業でつくったクッキーを役員会で使ってもらう等）。	検討					→
	○施設について、地域にPRしていきます。		●				→
○作業所で行う作業内容を、地域の人たちとの関わりの中で検討していきます。		●				→	
高齢者どうしの交流を進めるために	<地域・みんなの取り組み>						
	○地域での交流は日頃の関係があっこそなので、まず「あいさつ」から始めます。	●					→
	○本音で話したり相談できるようにするため、普段から信頼関係の構築に努めます。	●					→
	○まだ老人クラブに入っていない人に、加入を働きかけます。		●				→
	○老人クラブの活動をより魅力あるものにしていきます。		●				→
	○老人クラブを加入しやすいものに変えていきます。	検討					→
○高齢者が参加しやすいイベントを企画します。イベントをきっかけとしてグループづくりを進めます。	検討					→	
60代の人や男性の地域活動への参加を進めるために	<地域・みんなの取り組み>						
	○回覧板を活用して、参加を呼びかけます。	●				→	
	○地域の「ささえあいマップ」（菊名地区支えあい連絡会で作成）を活用して情報提供します。	●					→
	○核となるグループを立ち上げ、活動を開始します。		●				→
	○隣近所が顔見知りになれる機会を地域でつくりま	検討				→	

## ② 情報・相談

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
必要な情報が簡単・確実に入手できるように	<地域・みんなの取り組み>					
	○掲示板などを積極的に見るようにします。	●				→
	○回覧板などの情報を後日でも見られるように、情報ストックを行います（ITやコピー）。	●				→
	○障がい児・者のサポートに関する情報をまとめた資料を作成します。	●				→
	○菊名地区ささえあい連絡会で、障がい者も参加して地域情報マップづくりを行います。	検討				→
	○必要な情報が得られ、地域で活動している団体などの横のつながりを持てるように、連絡網の確立を検討します。	検討				→
身近な場でいろいろな相談ができるために	○町会など団体にこだわらずアクセスできる媒体（ネット、情報広場のような場所）をつくることを検討します。	検討				→
	<地域・みんなの取り組み>					
	○地区連合町内会組織の中に、情報連絡や相談などの窓口として、福祉部の新設を検討します。		●			→
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○民間レベルのNPO法人格をもった相談機関が、障がい児・者の身近な相談に取り組むことを検討します。					←

## ③ 場・拠点

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
子どもや青少年の居場所づくりのために	<地域・みんなの取り組み>					
	○地域のおとなが子どものための話し合いや出会いの場を持ちます。	検討				→
	○1か所、遊び場づくりを実施します（例：大豆戸町）。	検討				→
	○青少年が野外で活動しやすい拠点作りに取り組むことを検討します。	検討				→

## ④ ボランティア・担い手

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
ボランティアの育成のために	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○ボランティア活動について様々な支援や情報提供を行います。	検討				→
ボランティアを始めるきっかけづくりのために	<地域・みんなの取り組み>					
	○町内会、子供会などでボランティアについての話をし、関心を高めます。	●				→
ボランティアを必要とする人のニーズをとらえるために	<地域・みんなの取り組み>					
	○町内会などで、ボランティアを必要としている人がいるかどうか、声かけをしてニーズを把握します。	●				→
	○ごみ出しが困難な方に対して地域ごとに「ごみ出しのボランティアグループ」をつくることを検討します。	検討				→
高齢者の外出を支援するために	<地域・みんなの取り組み>					
	○高齢者の外出等を促進する方法を地域で考えます。	検討				→



⑤ 安心・安全

		今後の具体的な取り組み				
		H18	H19	H20	H21	H22
毎日安心して 過ごせるため に	<地域・みんなの取り組み>					
	○町内会として、困っている人のゴミ出しの援助を します。	●				▶
	○ごみ回収のサポート活動を地域で研究します。		●			▶
災害に備える ために	<地域・みんなの取り組み>					
	○町の防災組織を活性化します。	●				▶
	○災害時の弱者救助の仕組みづくりを検討します。	検討	-----	-----	-----	-----▶